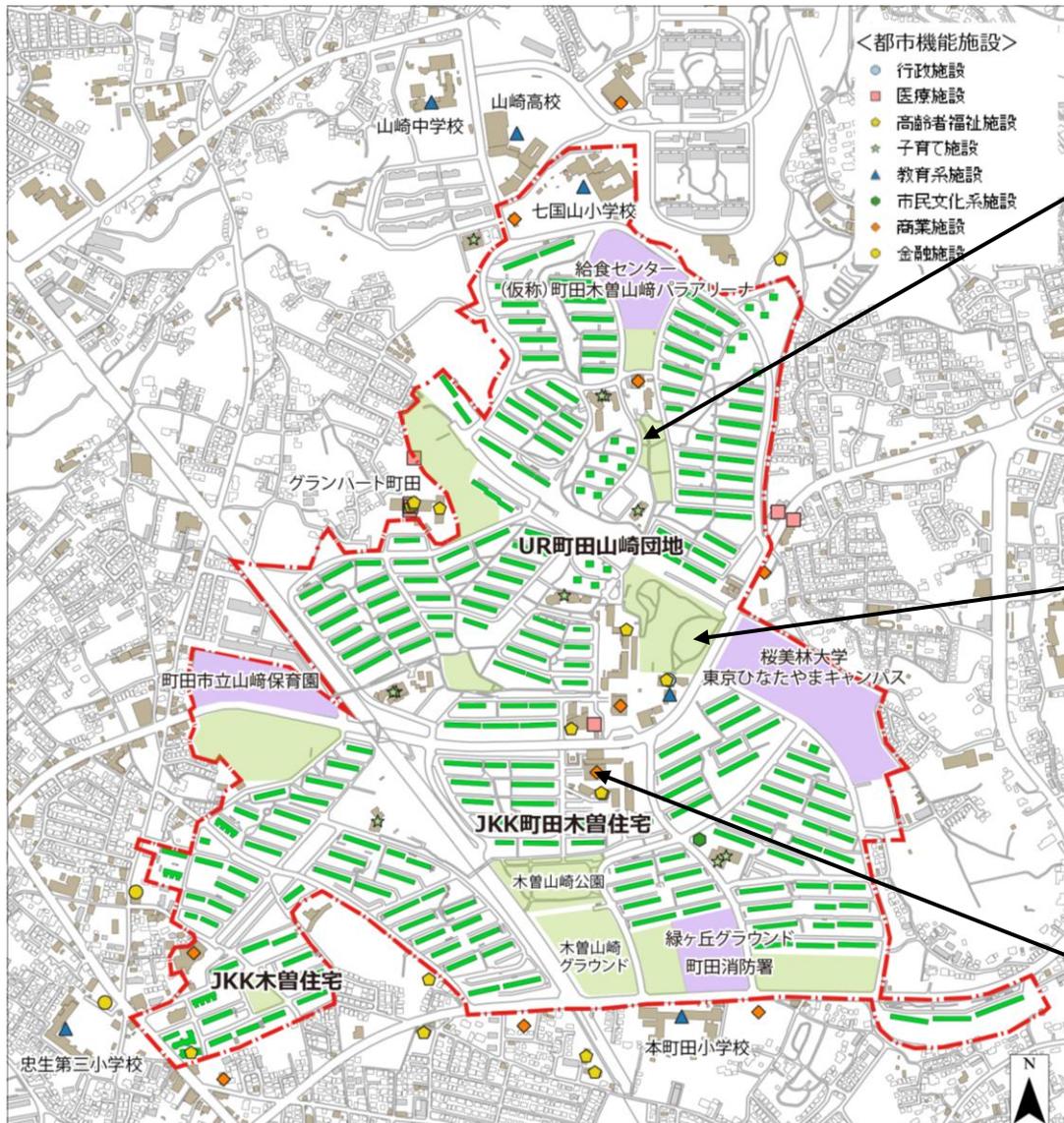


再生の取組② 住宅事業者の活用

団地キャラバンin町田山崎



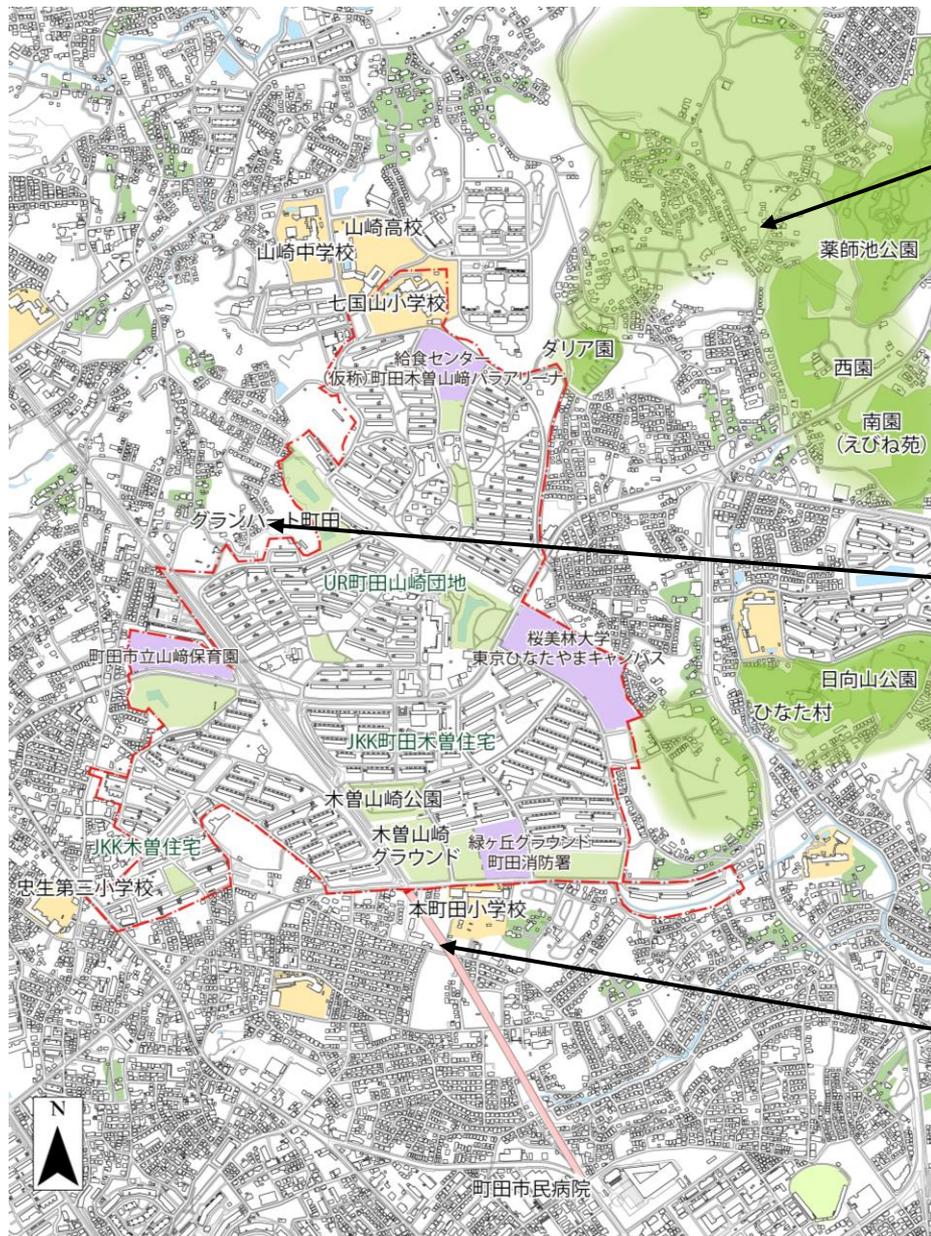
冒険遊び場



コミュニティ型生活サービス拠点「ネコサポ」



周辺地域のまちづくり



■薬師池公園の整備



■医療複合施設グランハート町田



■町田都市計画道路3・36・3号線相原鶴間線（旭町）の開通



モノレール沿線まちづくり構想について

- 多摩市と2022年8月に「多摩都市モノレール町田方面延伸 沿線まちづくり検討会」を設置し、「モノレール沿線まちづくり構想素案」をとりまとめ、市民意見募集を実施し、その結果を踏まえて、「モノレール沿線まちづくり構想」を策定しました。



モノレール沿線まちづくり構想について

沿線地区においてエリアごとにまちづくりを進め、各エリアの暮らしやすさや過ごしやすさの向上を目指していくこととしています。

木曽山崎団地地区では、「団地再生の推進」、「既存ストックの活用」、「スポーツによるまちづくりの推進」を掲げています。

「団地再生の推進」

- 木曽山崎団地地区まちづくり構想の改定
- 多様な担い手による地域の魅力向上の支援
- 交通広場の整備
- 駅周辺の都市機能集約、新たな賑わい機能の導入
- まちづくり計画に基づいた団地再生の更なる推進
- モノレールと連携したイベント等の実施

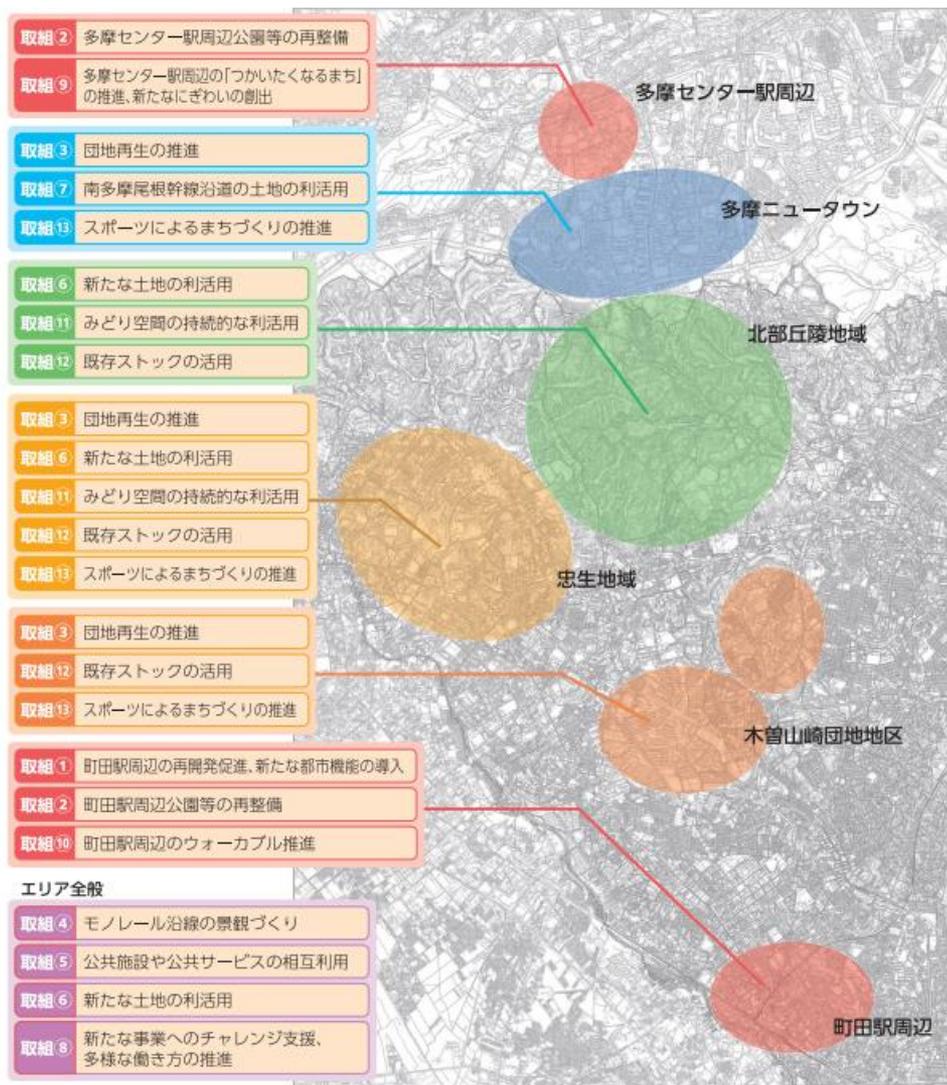
「既存ストックの活用」

町田薬師池公園四季彩の杜の観光拠点化



「スポーツによるまちづくりの推進」

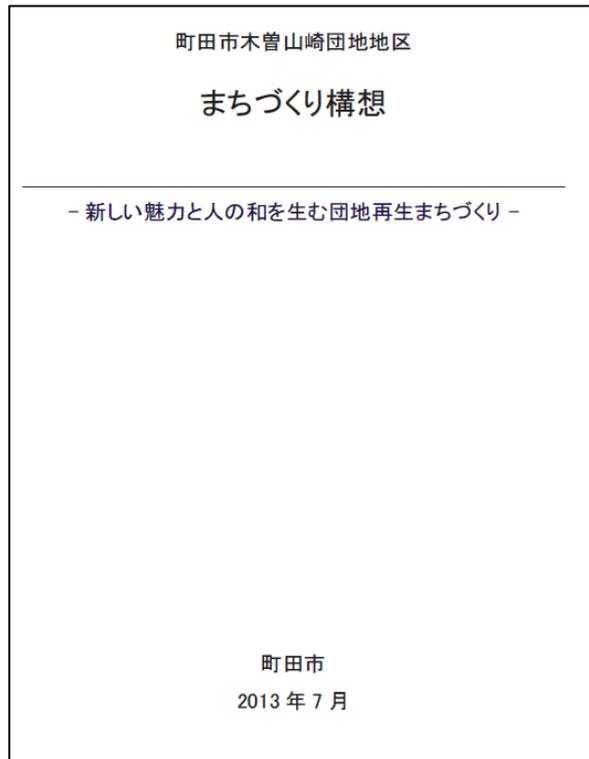
パラスポーツを推進するアリーナの整備



まちづくり構想の改定について

23

- 「町田市木曾山崎団地地区まちづくり構想」は2013年7月に策定され、策定から11年経過し、社会情勢は大きく変化していることから、**見直しと更新を図る時期**となっています。
- 構想の主な目的は、5つの廃校となった学校跡地を活用し、まちづくりを推進することで、構想策定から数年後、学校跡地は山崎保育園、町田消防署、桜美林大学東京ひなたやまキャンパスとして再生しました。
- 多摩都市モノレール町田方面延伸路線が2021年に東京都に延伸ルートとして選定され、木曾山崎団地地区においてもモノレール延伸後の沿線となる地区となります。今後、**モノレール延伸を視野に入れたまちづくりを進めていく**必要があります。
- UR都市機構は「町田山崎団地 検討区域説明会」を開催し、団地再生事業の機運が高まっています。



検討会、ワークショップ、アンケートでの
意見を基に検討中



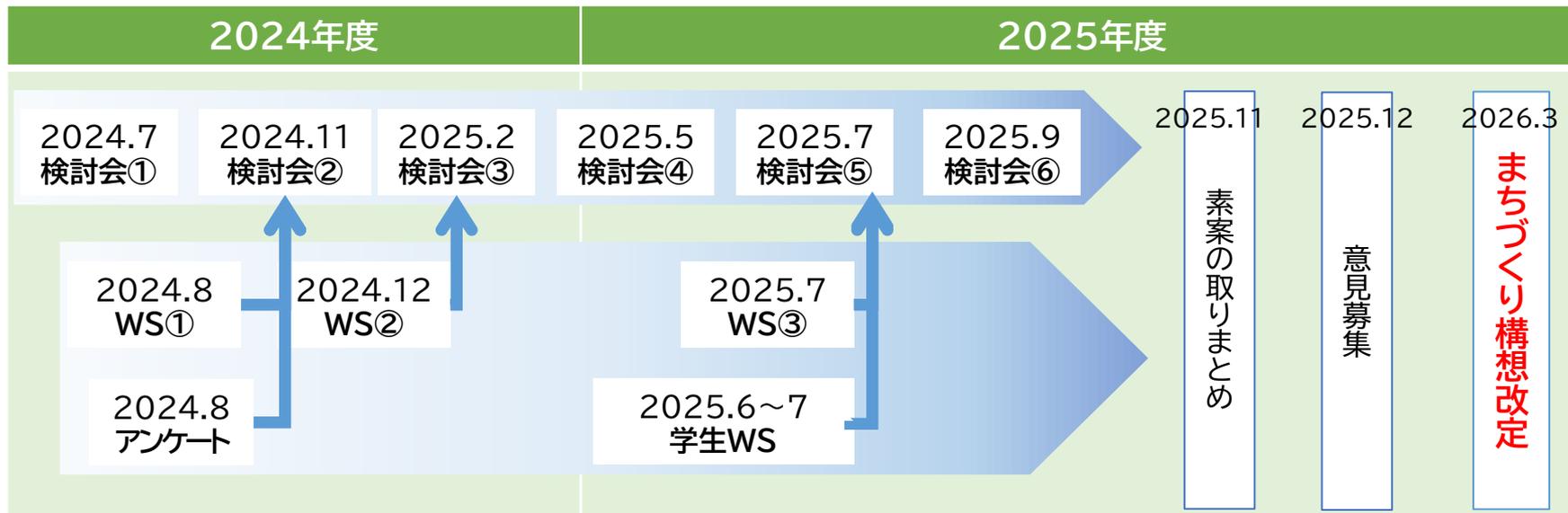
新たな
まちづくり構想へ

「木曾山崎団地地区まちづくり構想」
(2013年7月)

まちづくり構想の改定について

24

- まちづくり構想改定にあたって2024年7月に「木曾山崎団地地区まちづくり検討会」を組成しました。
- 2024年度は計3回の検討会を実施し、まちの将来像で議論を重ねています。
- 木曾山崎団地地区の居住者を中心にワークショップおよびアンケート調査を実施しました。



※WS:ワークショップ



まちづくり検討会 構成メンバー

まちづくり検討会会長
清水 哲夫氏(東京都立大学教授)

まちづくり検討会 委員

町田山崎団地自治会	本町田町内会
町田木曾団地自治会	千代ヶ丘自治会
木曾団地自治会	サンヒルズ町田山崎管理組合
町田木曾住宅ト号棟管理組合	町田山崎第二住宅管理組合法人
上山崎町内会	

第1回ワークショップの概要

●日時

2024年8月18日（日） 10:00~12:00

●場所

ネコサポステーション町田木曽 コミュニティスペース①

●参加者

14名

●内容

グループワーク1 「いまの木曽山崎団地地区を語ろう！」

いまの木曽山崎団地地区の良いところや引き継いでいきたいところ、課題だと思ふところについて意見交換しました。

グループワーク2 「将来の木曽山崎団地地区をイメージしてみよう」

グループワーク1を踏まえつつ、「どんなまちだったら住みたいまち？/どんなまちだったら訪れたいまち？/どんなまちだったら子どもにとっても良いまち？」の3つのテーマについて意見交換しました。



第2回ワークショップの概要

26

●日時

2024年12月1日（日） 10：00～12：00

●場所

木曾山崎コミュニティセンターB館大会議室

●参加者

17名

●内容

テーマ：「まちのレイアウトを考えてみよう」

「モノレールの駅が出来るとしたら、駅前には何があったら良いと思いますか？」

今後整備が予想されるモノレール駅周辺におけるほしい機能やその配置について意見交換を実施。

「駅を中心として地区全体のレイアウトを考えよう。」

駅を中心とした木曾山崎団地地区全体におけるほしい機能やその配置について意見交換を実施。

「地区内の交通はどのようになると良いですか？」

木曾山崎団地地区における交通手段やそのルートについて意見交換を実施。



アンケート調査の概要

27

●アンケート期間

2024年8月29日（木）～9月16日（月）19日間

●配布対象

町田山崎団地、町田木曾住宅、木曾住宅 7,536戸（全戸配布）

地区内の幼稚園、保育園、桜美林大学等での周知

広報まちだへの記載

町田市ホームページへの記載

●回答数及び回収率

紙回収：224件、WEB：358件

地区内の方からの回答：469件、地区外の方からの回答：113件

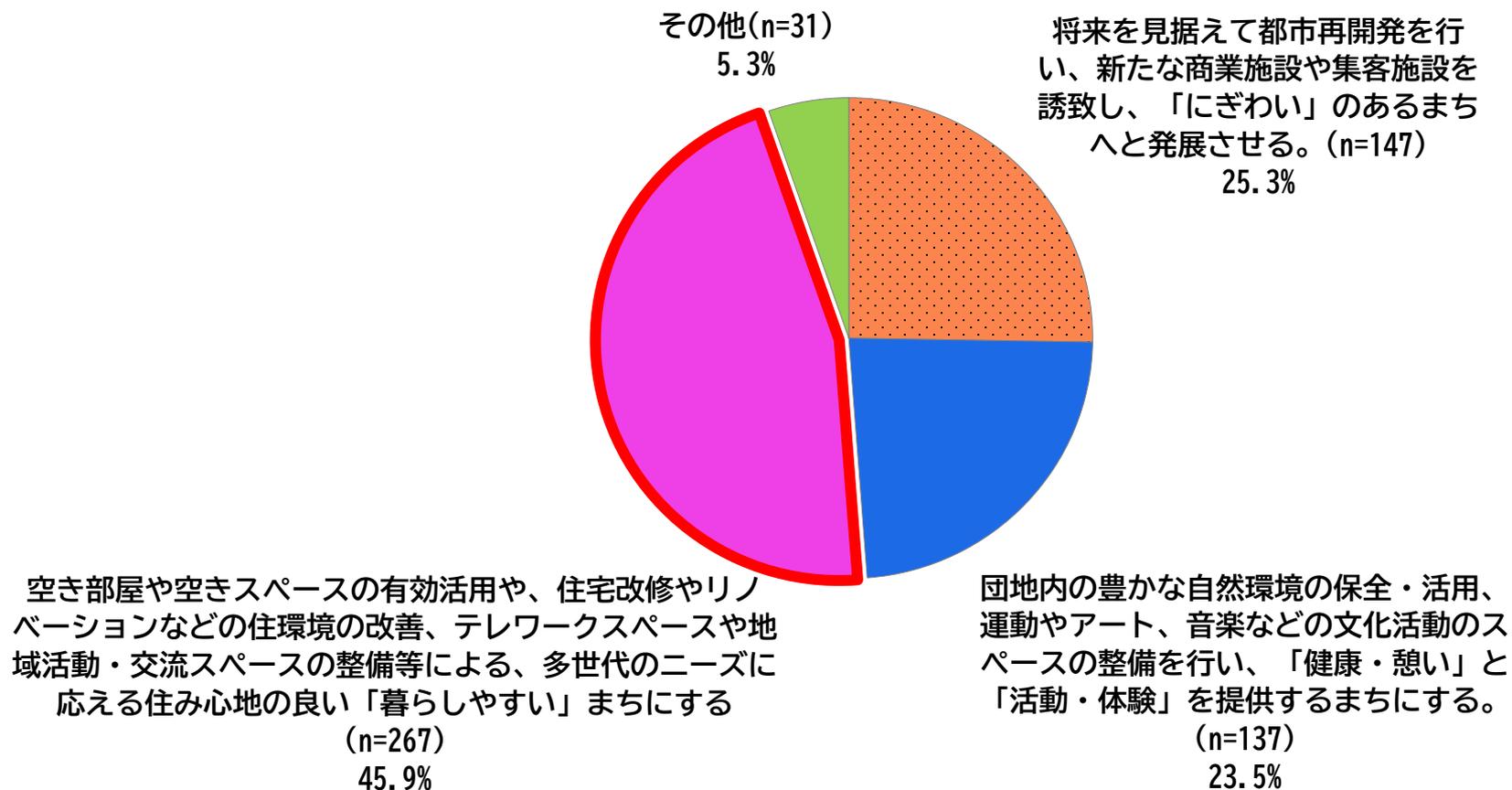
アンケートの配布数7,536戸に対する地区内回答率は、6.2%

●内容

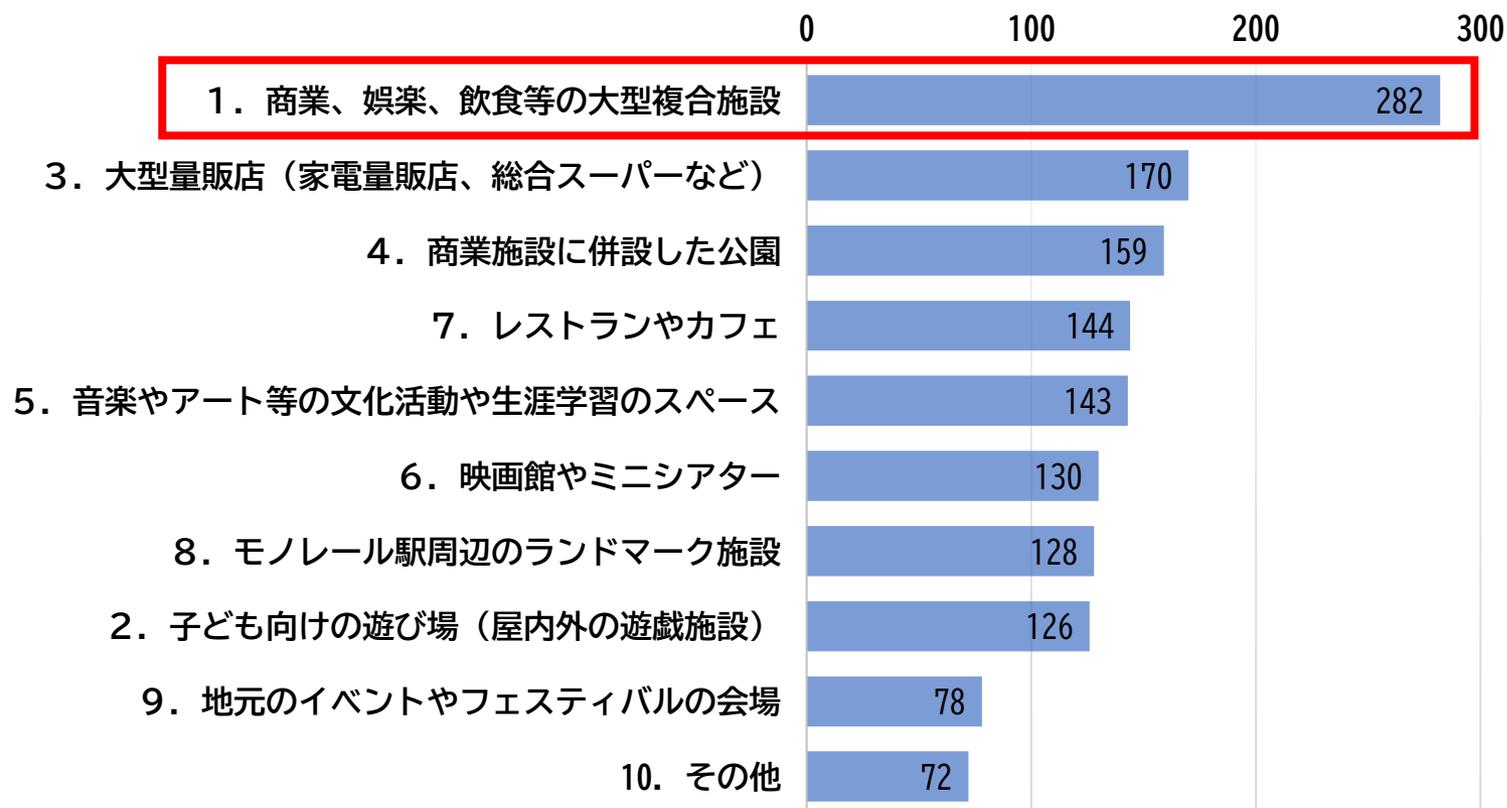
属性	お住まい	これからの木曾山崎団地における取組について	団地再生に向けた優先すべき取組み
	居住年数		モノレール延伸を契機としたにぎわいのあるまちづくりに向けた必要な施設
	年齢		多様な「活動・体験」と「健康・憩い」のあるまちづくりに必要な施設
買い物環境について	日用品買い物の場所		暮らしやすいまちにするために必要な取組み
	日用品買い物の移動手段		その他自由意見

アンケート結果について

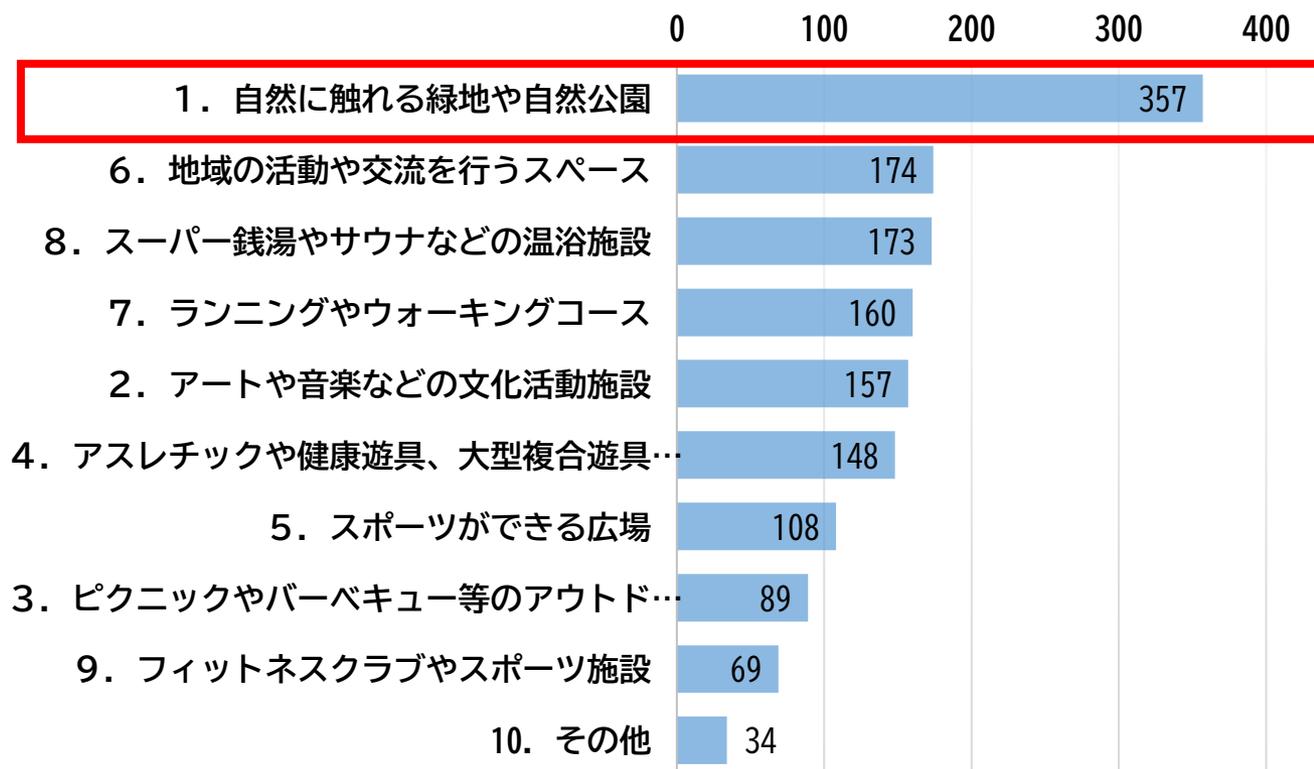
Q.多様な「活動・体験」と「健康・憩い」のあるまちにするには、
どのような施設が必要だと考えますか。



Q.モノレール延伸を契機とした「にぎわい」のあるまちにするためには、どのような施設が必要だと考えますか。

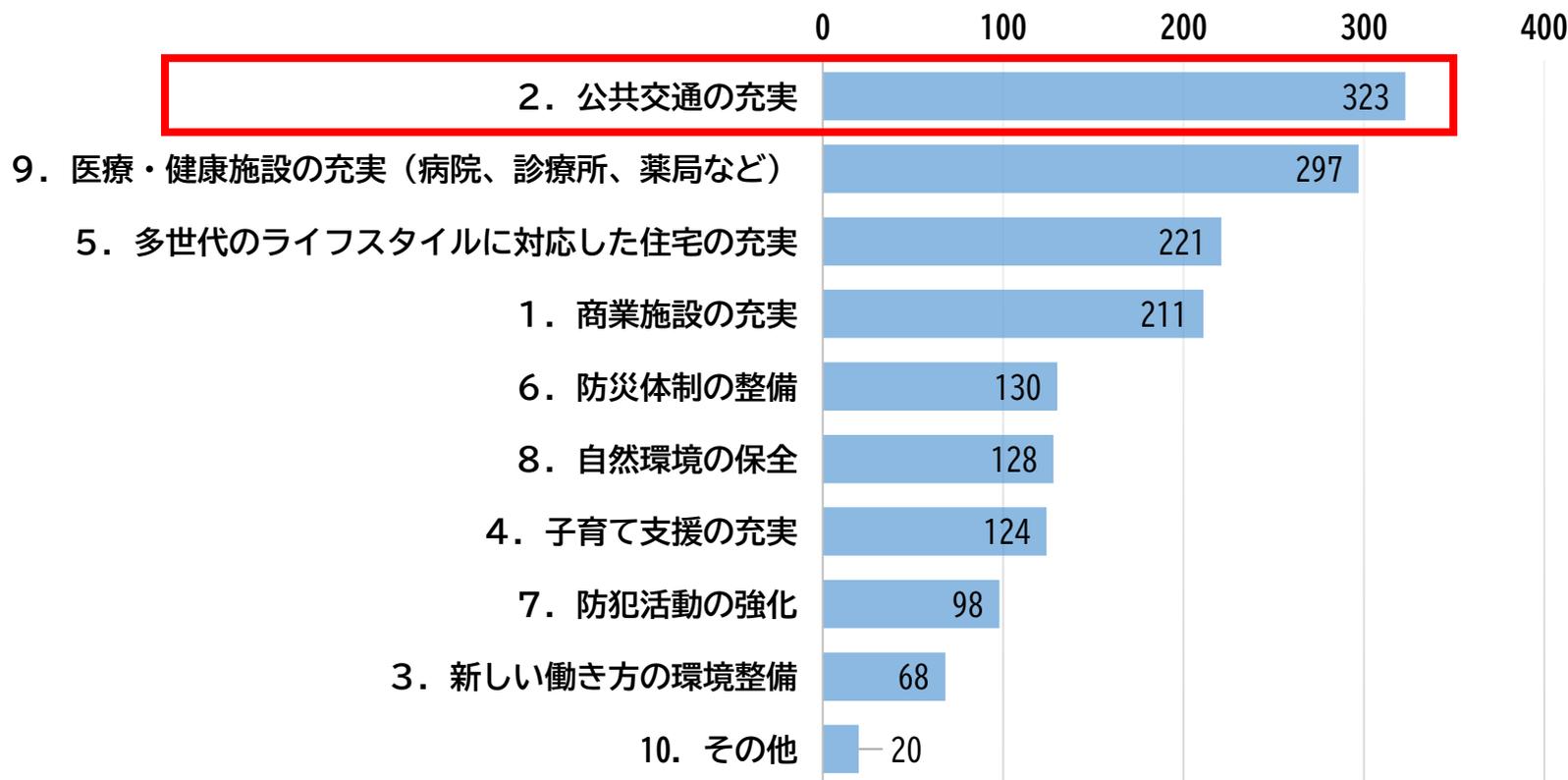


Q.多様な「活動・体験」と「健康・憩い」のあるまちにするには、
どのような施設が必要だと考えますか。



アンケート結果について

Q.多世代にとって「暮らしやすい」まちにするためには、どのような取組みが必要だと考えますか。



3時間目

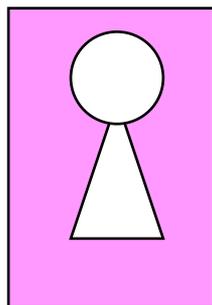
まち歩き

まち歩きの目的

まち歩きを通じて、木曽山崎団地地区の魅力と課題、モノレール延伸後にまちの変化が予想される場所を感じ、まちのイメージを共有することで、今後の検討に活かすことを目的としています。

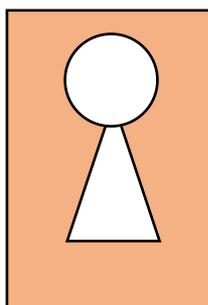
まち歩き

- ・ 「まち歩きマップ」を見ながら、木曽山崎団地地区を歩きます。
- ・ 以下の5人の人物設定を行います。1人1役なってください。その人物の視点でまち歩きを行います。
- ・ 実際のまちを感じ、イメージを膨らませながら、気づいたこと等を「まち歩きメモ」にお書きください。
- ・ グループの方とお話をしながら楽しく歩きましょう。



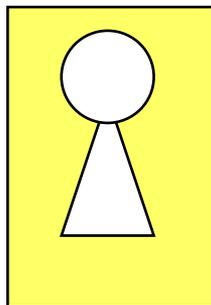
来街者A

- ・ まちづくりに精通している来街者
- ・ 町田駅付近に在住しており、都内の会社に勤務している
- ・ 20代後半



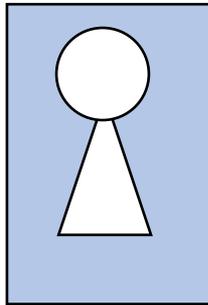
来街者B

- ・ 近隣の大学生。美術を学んでいる。
- ・ 10代後半



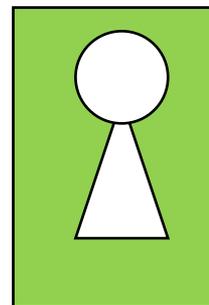
居住者A

- ・ 木曽山崎地区に引っ越してきた主婦(子ども1人)
- ・ 20代後半



居住者B

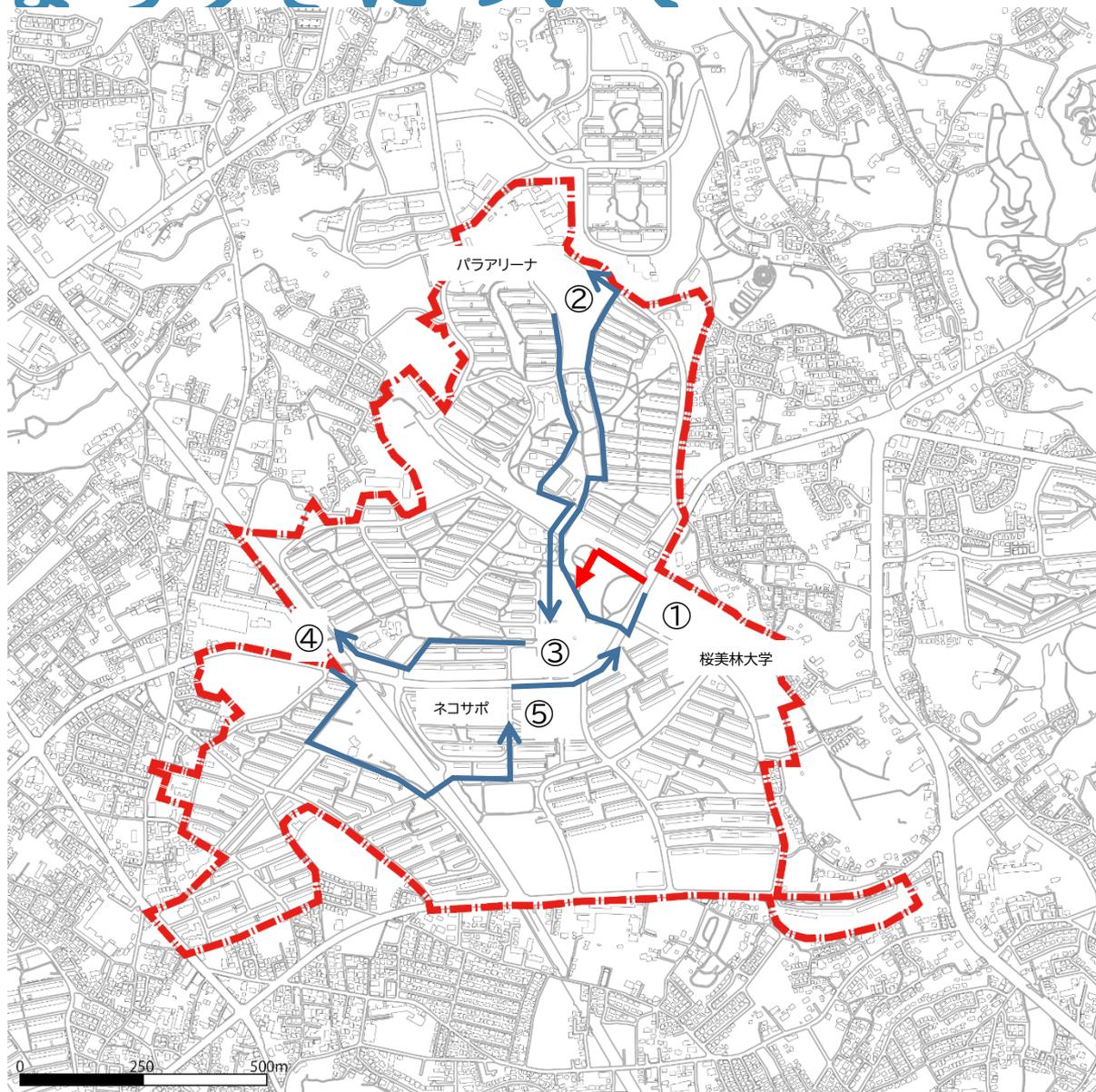
- ・ 木曽山崎団地で育った高校生。来年大学進学か就職か迷っている。
- ・ 10代後半



居住者C

- ・ 木曽山崎地区で育った地域の担い手。
- ・ 団地センター地区でカフェを営んでいる。
- ・ 20代前半

まち歩きについて



①桜美林大学



20分

②パラアリーナ(10分)



20分

③町田山崎商店街(10分)



10分

④人道橋・モノレール延伸ルート(5分)



10分

⑤木曾団地名店街(10分)



昼食

まち歩きについて

1. まち歩きの途中、体調がすぐれない方は無理をなさらず、直ちに事務局スタッフへお申し出ください。
2. まち歩きの途中、周りの方と共有したい情報等がございましたら、事務局スタッフへお声かけください。
3. まち歩きの途中、十分な水分補給に心がけてください。
4. 2グループに分かれてまち歩きを実施します。
5. 1グループ事務局含め9名程度と大人数で行動しますので、自由行動は避け、列から離れないでください。
6. お手洗いなどはまち歩き前にお済ませください。
7. SNSの発信はお控えください。
8. 事務局にて記録用の写真撮影や録音いたします。ご都合が悪い方はお申し出ください。